

2021年11月19日

各位

SHINSEI SUSTAINABLE
IMPACT ASSESSMENT
 会社名 株式会社新生銀行
 代表者名 代表取締役社長 工藤 英之
 (コード番号 : 8303 東証第一部)

【サステナブルインパクト】クリアル株式会社が組成する合同会社に対するソーシャルローンの実行について

当行は、持続可能性や ESG/SDGs の観点に、環境・社会・経済など社会全般に対して正のインパクトをもたらすことを目的とする社会的インパクトの概念を融合させた「サステナブルインパクト」の取り組みを推進しています。社会課題に対して正のインパクトをもたらす企業や事業に対し、お客さまとの継続的な対話を通じて投融資を行ってまいります。

このたび、クリアル株式会社(東京都台東区、代表取締役社長 横田 大造、以下「クリアル」)が組成する合同会社に対し、住宅型有料老人ホームを裏付けとする不動産信託受益権の取得を資金用途とするノンリコースローンを組成し、本日「新生ソーシャルローン」として、貸付を実行しました。

「新生ソーシャルローン」とは、特定の社会課題への対処やその軽減に資する事業や、社会的インパクトをもたらす事業に資金用途を限定したローンであり、2020年5月に当行が策定した、「新生ソーシャルファイナンス・フレームワーク」^{※1}に適合するファイナンスです。

借入人	合同会社西舞子ヘルスケア
資金用途	稼働開始済みの住宅型有料老人ホーム「グラディーナ西舞子(神戸市垂水区)」を裏付けとする不動産信託受益権の取得(以下、「本プロジェクト」)のための資金(運営者:株式会社日健マネジメント、当社ウェブサイト: http://www.nikken-m.jp/)
本件の社会的意義	「高齢者」を対象とした「必要不可欠なサービスへのアクセス(ヘルスケア)」の提供 > 施設利用者の観点:「高齢者が安心して日々の生活を送る住まいの確保」 > 施設利用者の家族の観点:「介護離職の減少」「女性の社会参加の促進」
本件がもたらす社会的インパクトと社会的課題との整合性	SDGs では主に「目標 3:すべての人に健康と福祉を」、「目標 5:ジェンダー平等を実現しよう」、「目標 8:働きがいも経済成長も」に貢献すると評価した。 また、内閣官房「ニッポン一億総活躍プラン」や内閣府「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」、兵庫県老人福祉計画等の国や都道府県の社会課題や方針とも整合すると評価した。
本ローンに関するその他評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ✓ クリアルは、「不動産を変え、社会を変える」を経営ミッションに掲げ、社会インフラへの資金供給を行っていくことを組織目標の一つとし、個人が手軽に大規模不動産に投資することができる投資型クラウドファンディングプラットフォームを手掛けながら、ヘルスケア施設、病院、保育園等、ESG 不動産に対する投資を推進している。そのため、本プロジェクトはクリアルの組織目標と整合していると評価した。 ✓ クリアルでは、本プロジェクトへの投資に際し、対象施設の運営に付随する人権侵害リスクや自然災害リスクといった環境・社会リスクの観点からもデューデリジェンスを実施するとともに、投資後も定期的に現地実査及びオペレーターとの面談を実施し、信頼関係と相互理解を深めながらプロジェクトをマネジメントするよう努めている。

※1 新生ソーシャルファイナンス・フレームワークを含む、「新生グリーン/ソーシャル/サステナビリティファイナンス・フレームワーク」の概要については、別添の参考資料をご参照ください。

「新生グリーン/ソーシャル/サステナビリティファイナンス・フレームワーク」について

近年、企業の資金調達手段の一つとして、グリーンローン、ソーシャルローン、サステナビリティローンなど、環境・社会課題の改善に資する事業に資金使途が限定されたファイナンスを活用する例が増えています。当行においても、これらのファイナンスの実施を通じて、お客さまの環境・社会課題の改善に資する取り組みをサポートするために、「新生グリーンファイナンス・フレームワーク」、「新生ソーシャルファイナンス・フレームワーク」、「新生サステナビリティファイナンス・フレームワーク」（以下、総称して「本フレームワーク」）を、2020年5月に策定しました。

当行が本フレームワークに基づくファイナンスを行うにあたっては、社内で独立性を確保した評価室が、資金使途や資金管理方法、潜在的な環境・社会面への負の影響等を評価し、本フレームワークへの適合性を確認します。

また、本フレームワークについては、関連原則と整合的であること^{※2}、本フレームワークの社内の実施体制が堅固であることについて、株式会社日本格付研究所（JCR）より、第三者意見を取得しています。

なお、当行では、本フレームワークの適合性の確認にあたって、以下のロゴマークを使用することとしています。

【環境性】



SHINSEI
SUSTAINABLE
IMPACT
ASSESSMENT

【社会性】



SHINSEI
SUSTAINABLE
IMPACT
ASSESSMENT

※2 本フレームワークでは、国内外での指針である以下の関連原則と整合した運営を行います。

- ・ 国際資本市場協会（ICMA）が公表している「グリーンボンド原則」、「ソーシャルボンド原則」、「サステナビリティボンド・ガイドライン」
- ・ ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）ならびにアジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーションが策定した「グリーンローン原則」

以上